

検討会だより

◆準備会(12月10日 午後7時から)

一般公募の60数名のうち47名の参加を得て準備会が開催されました。会では、計画の概要についての説明及び今年度中に行われる予定の補修工事についての説明のあと、今後の検討会の進め方について活発な討議が行われました。

◆現地見学会開催(2月3・4・5日 午後1時30分から)

寒さが厳しい中でしたが天候にも恵まれ、3日間にわたり現地の見学会を無事開催いたしました。延べ37名の参加者があり、皆さん熱心に敷地内くまなく見て回りました。普段は一般利用者の立ち入りを制限している斜面樹林や水源地周辺では、思いのほかに豊かな自然が残されていることや、休憩所の建物の現在使用されていない部分がかなりあることなどを見て、それぞれが新たな活用方法に想いをはせたことと思います。

◆第1回検討会(2月5・13・20日 午後7時から)

3回に分けて参加者の班分けをし、初めての検討を行い延べ47名が参加しました。はじめは参加者が共通認識に立つために、跡地整備にかかる区の基本的な考え方や関連する計画、跡地の現況と課題などの説明を受けました。

その後、班別自己紹介のあとさっそく検討作業に入り、現地見学会などで気づいた現状の問題点や課題、そして皆さんの跡地に対する思いや提案を出し合って、現況平面図の上で整理を行いました。



2月13日検討会の状況

◆第2回検討会(3月6日 午後7時から)

雪が降り出しそうな寒い晩でしたが、31名が参加し始めての本格的な班討議に入りました。班討議では、進行役や書記を決めて第1回検討会で出し合った課題や提案などについて、班毎に検討を加えながら平面図上での整理を進めました。

班によっては討議に熱中し、定刻を30分以上もオーバーするほどでした。

◆第3回検討会(3月20日 午後7時から)

これまで進めてきた跡地の課題や提案のまとめを班毎に代表者の方が発表いたしました。33名が参加し、各班のアイデアや検討結果の共有化を図りました。そして、各班の整理した結果にそれほど違いがなく、共通点が多いことを互いに認識しあいました。発表の後は、ゾーン毎の活用方針やテーマなどについて話し合いました。

課題や問題点の整理結果

<p>第1班 跡地の課題・問題点・提案の整理(まとめ) kadaiseiri1han.pdfへのリンク</p>	<p>3月20日発表と討議状況</p>
---	---------------------

第2班 跡地の課題・問題点・提案の整理(まとめ)
[kadaiseiri2han.pdf へのリンク](#)



第3班 跡地の課題・問題点・提案の整理(まとめ)
[kadaiseiri3han.pdf へのリンク](#)



◆第4回検討会(4月24日 午後7時から)

第4回目の検討会では、29名が出席して跡地のテーマや基本方針、全体のゾーニングなどを確認しました。その後は、各ゾーンごとの活用方針(素案)をたたき台にして、各班30分以上定刻をオーバーするほど、各ゾーニングの範囲や個々の現況施設の整備活用方針について活発な議論を行いました。

跡地のテーマ	跡地全体のゾーニングの考え方
輝く「緑」と潤いの「湧き水」に囲まれた心やすらぐ「区民の暮らしの庭」	活用計画ゾーニング図(案) katuyouplanzoning.pdf へのリンク

4つの基本方針	主な取組みの方向
◆今ある自然を守り、育み、区民の心に残る原風景として後世に伝えていく。	・自然の保護、保全、再生、復元等 ・地域の歴史的景観の保全と復元
◆多摩川台公園周辺の「水と緑と歴史文化の拠点」の一部として周辺公園緑地との一体的な活用を目指す。	・周辺公園緑地との機能分担 ・地域性の創出と特徴づけ ・関連計画との調和
◆区民が様々な体験や活動ができる「水と緑の緑地空間」を創出し、これを活用した多様なまちづくりの自主活動を支援できる施設活用を図る。	・区民による空間利用の自主ルールづくり ・区民参加の「育てていく公園づくり」 <自主整備・自主運営・自主管理> ・多様な自主活動の支援 <まちづくり、青少年の健全育成、防災等>
◆復元された六郷用水の水源地として、湧水の涵養、保全、活用を図る。	・湧水地の保全、涵養 ・六郷用水への導水

◆第5回検討会(5月14日 午後7時から)

第5回目の検討会では、30名が出席し、班毎で各ゾーン毎の活用方針や個々の現況施設の整備活用方針など、その具体策を含めて話し合いを行いました。テーマによっては、かなり深く議論がなされました。

◆跡地の樹木調査及び自然観察会(5月29日・30日午前10:00から午後3:00)

2日間で述べ人数20名が参加し、斜面樹林の樹木調査と自然観察を行いました。調査は、斜面樹林約1.1ヘクタールを三ブロックに分けて、幹周り30センチメートル以上の樹種名と幹周り及びナンバーリング(番号付け)を行いました。2日間で斜面樹林帯の約5分の2の範囲200本以上の調査を終えました。調査した範囲だけでも幹周り1メートル以上の樹木が56本、2メートル以上の樹木が9本もあり、大木が数多くあることに参加者、区職員もおどろきました。

◆第6回検討会(6月24日 午後7時から)

第6回目の検討会では、雨にもかかわらず27名が出席し、前回に引き続き、各ゾーン毎の活用方針や個々の現況施設の整備活用方針を話し合い、活用の方向性を確認しました。その後、各班の特徴的な意見や深く議論した部分などについて、各班の代表者が発表いたしました。各班の発表を聞き、それぞれ個性的な意見もありましたが、基本的な考え方や方向性は相違ないことを認識し、7月17日富士見会館で予定している中間発表(地域への経過報告と意見交換会)に向けた準備も行いました。

◆跡地の樹木調査及び自然観察会(7月2日・3日午前10:00から午後3:00)

前回の樹木調査に引き続き、斜面樹林の調査とナンバーリング並びに自然観察会を実施しました。2日間で述べ人数6名が参加し、斜面樹林の未調査部分5分の3の範囲、約280本の調査を終えました。今回の調査で約1.1ヘクタールの斜面樹林の樹木調査を無事終えることができました。蒸し暑さ、やぶ蚊、危険な斜面での調査、皆様のご協力ありがとうございました。

◆検討会の中間発表・意見交換会(7月17日午後7:00～午後9:00まで)

活用計画検討会のこれまでの経過や各ゾーンごとのテーマや活用の方針について、事務局の区と検討会のメンバー(各班の代表者)が近隣の方々へ報告いたしました。各班の特徴的な意見や今後も議論を要する課題(ルールづくりなど)についても発表いたしました。検討会のメンバーも含め35名の方が出席し、多目的広場の利用方法やルールづくりに関する質問がいくつか出されました。各ゾーンごとのテーマや活用方針については、出席者の方に概ねご理解をいただきました。

[各ゾーンごとのテーマや整備活用方針
zonebetukatuyouhousin.pdf へのリンク](#)

[活用計画ゾーニング図\(ゾーン別\)
kakukatuyouplanzoning.pdf へのリンク
\(354キロバイト\)](#)

◆第7回検討会(9月11日 午後7時から)

これまで各班で討議を進めてきた中で、それぞれの現況施設の活用方法や具体的な施設整備の提案(テニスコートやドッグラン、サッカーなど)に関し、各班毎に特徴的な意見も多くあり、整理をする部分がありました。第7回目の検討会では、26名が出席し、これらの重要課題について検討会として方向性を統一するため、テーマごとに全員で話し合いました。活発な議論の末、最終的には「原則として各種要望ごとの専用施設は設置せず、広場等既存施設の多様な活用のためのルールづくりやそれに必要となる最小限の施設整備を今後検討していく。」という方針を確認いたしました。

◆第8回検討会(9月25日 午後7時から)

第8回目の検討会では、参加者20名全員で最初に前回9月11日の専用施設は原則設けないことを確認し、その後、水と緑をテーマにして話し合いました。「ビオトープの整備として、ため池をもっと広げた方が生態系に良いのでは。それでは、子供たちの遊ぶ原っぱが減少してしまう。」など、いろいろな論議がなされました。「貴重な自然を守り育てる。多目的な活用を図る。」という跡地活用の基本方針を踏まえ、「斜面樹林では、斜面が崩壊しないための必要最小限の整備(自然に配慮した工法や方法)は行う。現在ある池や滝は当面現状の形を維持し、生態系の変化など、様子を見る。素掘りの水路の形状やルートについては、多少変更した方が良い。」など、検討会全体としての方向が確認されました。

◆第9回検討会(10月7日 午後7時から)

第9回目の検討会では、参加者15名全員で前回の討議結果を確認し、その後、広場や園路、年末年始の開園などをテーマにして話し合いました。「点在する草っぱら広場を一体化させた方が良いのでは」など色々なアイデアが出されました。あまり自然を損なわないような改修とすることを基本とし、湧水の水路を復元するなど、水を特徴とした広場にしていく方向で進めることになりました。将来的には周遊できる園路も必要だということや花壇整備など色々な自主整備・自主管理グループを今後公募していくことなどを確認しました。

また、年末年始は、閉園を予定していましたが、「ボランティアによる門の開閉などで、今年から開園

していきたい」という提案が出されました。

◆第10回検討会(10月22日 午後7時から)

第10回目の検討会では、参加者15名全員で前回に引き続き、広場や園路について話し合いを進めました。多目的広場や草っぱらには、原則として専用施設(その目的にしか使えない施設)は、設置せず、青少年健全育成のための地域団体活動や地域のイベントなど一時的な利用については認めていくことを再確認しました。また、広場利用のルールについても色々な意見が出されました。

◆第11回検討会(11月11日 午後7時から)

第11回目の検討会では、参加者17名全員で前回の討議結果を確認し、その後、広場や園路の照明や排水設備、公園のエントランスなどについて話し合いました。山上の草っぱら広場には、湧水の涵養を図るための浸透施設や污水排水系統の切替えが必要、また、園路沿いなど、最小限必要の照明設備は、最初に整備すべきということを確認しました。ドリコの坂近くのトイレは、男女別で快適に使用でき、もっと解かり易い場所とした方が良い、やはりエントランスはもっと解かりやすい構造とした方が良いという方向性を確認しました。

樹木調査結果概要(最終報告)

1. 総樹木数 (幹周り30センチメートル以上)	斜面自然林: 483本 (幹周り1メートル以上169本)	合計906本(幹周り1メートル以上220本)	
	広場周辺: 423本 (幹周り1メートル以上51本)		
2. 総樹種数	約43科107種(エノキ、ムクノキ、サクラ、モミジ、ミズキ、シイノキ、クスノキ、マテバシイなど)		
3. 優先樹種	<斜面樹林>1:エノキ、2:サクラ類、3:ミズキ、4:モミジ類、5:シイノキ <広場周辺>1:カイズカイブキ、2:クスノキ、3:マテバシイ、4:サンゴジュ、5:クロガネモチ		
跡地で1番大きいケヤキの木 (右の写真幹周り344センチメートル)			

◆第12回検討会(11月27日 午後7時から)

第12回目の検討会では、参加者13名全員で休憩所(旧クラブハウス)の活用方法について話し合いました。「1階の旧女子ロッカー室と浴室を改修して展示や情報コーナー、ギャラリーとする。2階の多目的室と浴室、空調室を改修して多目的に使える小部屋を多く取る(パーテーションなど)。休憩所の一部(駅側)をピロティ式とし、駅側からのメインの出入り口を設けると同時に公園の顔をつくる。」など、休憩所活用の基本方針を確認いたしました。

◆検討会の最終報告・意見交換会(12月11日午後7:00~午後9:00まで)

跡地活用計画の基本方針や整備活用の具体例などについて、事務局の区と検討会のメンバー(各班の代表者)が近隣の方々へ報告いたしました。各ゾーンごとの整備活用の具体例や休憩所の活用方法、主要課題への取組みの方向、樹木調査結果など、これまでの話し合いのまとめを発

表いたしました。検討会のメンバーも含め23名の方が出席し、多目的広場の利用ルールやバリアフリー化に関する質問がいくつか出されました。跡地の活用方針や取組みの方向、整備活用の具体例などについて、出席者の方に概ねご理解をいただきました。

◆第13回検討会(16年1月14日 午後7時から)

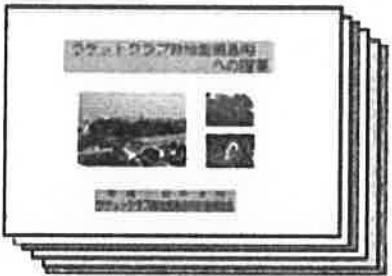
第13回目の検討会では、参加者14名全員で整備の具体例に関するイメージ図の確認や修正事項に関して討議いたしました。湧水の水路をめぐらせる案や雨水浸透施設、ソーラー発電灯などの環境保全型施設整備の規模について、意見を出し合いました。

◆第14回検討会(2月19日 午後7時から)

第14回目の検討会では、参加者20名全員で今まで修正を重ねてきた図案について、1項目づつ最終の確認作業を行いました。そして、まとめ上げた提案の中で「湧水を流すオープンな水路をめぐらせること。斜面樹林の保全(崩壊対策)、トイレの改修、ベンチの増設、防犯対策については、できるだけ早い時期に実施していただきたい。」という考え方を確認しました。

【検討会のまとめと成果】

○ 検討会からの提案については、以下の概要版をご覧下さい。PDFファイルをプリントすれば冊子になります。

ラケットクラブ跡地整備活用への提案 (PDFファイル)	
	提案の表紙(163キロバイト)へのリンク
	跡地整備活用方針(10キロバイト)へのリンク
	活用計画ゾーニング図(346キロバイト)へのリンク
	主要課題への取組み方針と提案(10キロバイト)へのリンク
	ゾーン別活用方針(21キロバイト)へのリンク
	整備活用の具体例(229キロバイト)へのリンク
	休憩所活用の具体例(136キロバイト)へのリンク

※これまで1年3か月余りの間、延べ人数500人が参加して14回の検討会、地域への報告・意見交換会を2回、その他、樹木や生きもの調査会などを多数行ってきました。大勢の区民の協力を得て跡地整備活用の方法を検討してきた過程とその成果を掲載させていただきました。ご協力誠にありがとうございました。

[◀戻る 活用計画検討会へ戻る](#)

[◀戻る 跡地案内へ戻る](#)